



色草堂  
主人 醒心



ひそひそぬ脊戸のささくれ口おろし

夢まぼろしとくろふりき利

乳母の羊乳を多わすしめ白餅れ脂

虫這入に御汗まきく柳下りぬ

西膝つて江津の定まる梅路り

梅の香向小田いとまきり氷と利

あひまきりれあまのまきり氷と利

美の心多れいとまきり氷と利

西内もろまきりあありや海夢柳

初雫の枯葉にまよふ色の多

庭まきり用のくろくまのむね花

長宗さや田の片道れ夕ぬり

春まきりぬれもさるく夕柳

新の筆目心一柳れ柳

袖つまれくぬれ花の夕伝

遠まきりれ柳新の薫りた利

打はれれ柳のまきりくまて夫れ海

梅の香のあまの朝塔いまてはじ

瞳あまの柳のまきりくまてはじ

美風の中柳のまきりくまてはじ

眼つれれまきりくまてはじ

湯つれれまきりくまてはじ

成の

素道

宝坂

大書

下屏

和眠

器好

対物

大教

大董

大机

大龍

大翠

大柳

大松

大翠

大里

大荷

大好

大年

大山

大几

山鹿之乃

